

国土交通省へ新東名高速道路の整備推進を要望しました

令和7年11月11日（火曜日）

新東名高速道路は、我が国の社会経済活動の根幹を担う新たな大動脈であり、重要な道路です。

このため、神奈川県、愛知県、静岡県、名古屋市、静岡市、浜松市の3県3市は、新東名高速道路建設促進協議会を組織し、整備促進に向けた積極的な活動を行っており、このたび、新東名高速道路の早期全線開通や6車線化の実現等を求める決議を行い、国土交通省へ要望活動を実施しました。

廣瀬技監及び塩見国土交通審議官に要望書を手渡し、現在事業中区間の開通予定時期を早期に示すとともに、工事の安全を最優先として、一日も早い開通を目指し、事業を強力に推進することや、海老名南ジャンクション以東の区間の計画の具体化を図ることなど、新東名高速道路の整備推進を強く要請しました。

要望活動の様子



(←左から)
小出浜松市土木部参与
塚田静岡市建設局長
星野静岡県西伊豆町長
塚本静岡県副知事
廣瀬国土交通省技監
橋本神奈川県副知事
山口神奈川県厚木市長
萩原神奈川県伊勢原市長
西川愛知県建設局長
塩沢名古屋市住宅都市局担当局長

(→左から)
小出浜松市土木部参与
塚田静岡市建設局長
星野静岡県西伊豆町長
塚本静岡県副知事
塩見国土交通審議官
橋本神奈川県副知事
山口神奈川県厚木市長
萩原神奈川県伊勢原市長
西川愛知県建設局長
塩沢名古屋市住宅都市局担当局長



みんなのまちへ、
つながる 新東名!!

新東名高速道路は、2012年4月に御殿場JCT～浜松いなさJCT間の約145kmが開通し、さらに2016年2月には、浜松いなさJCT～豊田東JCT間の約55kmが開通したことで、東名高速道路と約200kmのダブルネットワークが形成され、様々なストック効果を発揮しています。現在、残る区間である新薬野IC～新御殿場IC間の建設が進められており、一日も早い開通が望まれています。

